

産業振興ビジョンの評価について

資料 4

◎：施策提案以上に事業を推進している ○：施策提案をほぼ達成している
△：施策提案を一部達成している ×：施策提案を全く実施していない

基本目標	施策大分類	施策小分類	評価
1. 岸和田の個性と魅力を活かす産業 ～歴史・文化・自然の資源の発掘と活用～	(1) 地域資源の発掘	①歴史・文化資源の発掘と応用	○
		②自然資源の発掘と活用	△
		③市民への啓発と学校教育・社会教育への反映	○
	(2) 観光・集客事業の推進	①岸和田ブランドの創出	○
		②観光を生かした農林漁業の展開	○
		③観光周遊ルートの整備	○
		④観光PRの充実、観光案内人の養成	◎
		⑤観光振興計画の検討	○
2. 人と環境にやさしく時代に対応した産業 ～福祉・環境・情報化の時代に対応～	(1) 少子高齢化への対応	①高齢者の働く場の確保とシルバー人材センターの充実・活用	○
		②高齢者の技術やノウハウ等の活用	×
		③高齢者にやさしい製品づくり	×
		④商店街などの高齢者対応のまちづくり	○
	(2) 環境問題への対応	①環境対応やりサイクルへの支援	△
		②農林漁業の振興	○
		③事業者の環境改善への支援	×
	(3) IT問題への対応	①インターネットの環境整備、地域情報ネットワークの整備	△
		②商工業者の情報化支援	○
3. 多様性を活かし地域経済循環を創出する産業 ～地域と人と産業の相互交流・連携の推進～	(1) 地域と産業をつなぐネットワーク	①産業情報（商店街、物産・観光情報など）の提供	○
		②イベントの充実と創造	◎
		③事業所、工場を「地域のミニ展示場」に	○
		④工場見学や農業体験など学校と連携して実施	△
		⑤地域特性に応じた商店街等の振興	△
	(2) 産業と産業をつなぐネットワーク	①異業種間の交流と連携の促進	○
4. ものづくりを大切に、人を育て活かす産業 ～人材の育成と雇用の確保～	(1) 人材の育成	②広域ネットワークの促進	○
		①従業員や後継者の育成	○
		②公的研究機関や大学などとの連携促進	○
	(2) 労働環境の整備	③農業後継者の育成	○
		①働きやすい職場づくり	○
		②勤労者の福利厚生制度の充実	○
5. チャレンジ精神あふれる産業 ～新規事業の開発・育成と既存事業の経営革新～	(3) 雇用の確保	①公共職業安定所と連携した雇用開発	○
		②障害者雇用などの推進	○
	(1) 起業意識の高揚	①起業家育成セミナー（仮称）の開催	◎
		②経営革新のネットワークづくり	○
	(2) 創業支援	①SOHO等への支援	○
		②起業活動の「場」の確保・提供	△
		③資金面での支援	◎
		④地域中小企業支援センターの活用促進	○
	(3) 既存事業所の経営革新への支援	①商工会議所や他の商工業者団体との連携	◎
		②金融の充実	○
		③国・府の制度の広報、活用促進	○

産業振興ビジョンの推進状況を評価すると、40 の施策提案に対して「施策提案をほぼ達成している」が 65% を占めています。

「施策提案以上に事業を推進している」には、「観光PRの充実、観光案内人の養成」「イベントの充実と創造」「起業家育成セミナー（仮称）の開催」「資金面での支援」「商工会議所や他の商工業者団体との連携」があり、観光や産業の担い手の育成に関する施策が十分に推進されているといえます。

「施策提案をほぼ達成している」には、「岸和田ブランドの創出」「農業後継者の育成」「国・府の制度の広報、活用促進」などがあり、地域資源の発掘と発信、地域産業に関する情報発信、就労環境づくりへの支援に関する取り組みが、一部課題を残しつつも着実に推進されているといえます。

「施策提案を一部達成している」には、「環境対応やりサイクルへの支援」「インターネットの環境整備、地域情報ネットワークの整備」「地域特性に応じた商店街等の振興」などがあり、コロナ禍を踏まえ、SDGs 等環境配慮やデジタル化、地域特性を活かした産業振興に取り組む必要があります。

「施策提案を全く実施していない」には、「高齢者の技術やノウハウ等の活用」「高齢者にやさしい製品づくり」「事業者の環境改善への支援」があり、人口減少社会・少子高齢化や脱炭素の取り組み支援といった時代に対応した施策の見直しが求められます。

■産業振興ビジョンの評価（総括）

基本目標	施策評価区分	評価数
1. 岸和田の個性と魅力を活かす産業 ～歴史・文化・自然の資源の発掘と活用～ 【8 施策提案】	施策提案以上に事業を推進している	1
	施策提案をほぼ達成している	6
	施策提案を一部達成している	1
	施策提案を全く実施していない	0
2. 人と環境にやさしく時代に対応した産業 ～福祉・環境・情報化の時代に対応～ 【9 施策提案】	施策提案以上に事業を推進している	0
	施策提案をほぼ達成している	4
	施策提案を一部達成している	2
	施策提案を全く実施していない	3
3. 多様性を活かし地域経済循環を創出する産業 ～地域と人と産業の相互交流・連携の推進～ 【7 施策提案】	施策提案以上に事業を推進している	1
	施策提案をほぼ達成している	4
	施策提案を一部達成している	2
	施策提案を全く実施していない	0
4. ものづくりを大切に、人を育て活かす産業 ～人材の育成と雇用の確保～ 【7 施策提案】	施策提案以上に事業を推進している	0
	施策提案をほぼ達成している	7
	施策提案を一部達成している	0
	施策提案を全く実施していない	0
5. チャレンジ精神あふれる産業 ～新規事業の開発・育成と既存事業の経営革新～ 【9 施策提案】	施策提案以上に事業を推進している	3
	施策提案をほぼ達成している	5
	施策提案を一部達成している	1
	施策提案を全く実施していない	0
■合計【40 施策提案】	施策提案以上に事業を推進している	5
	施策提案をほぼ達成している	26
	施策提案を一部達成している	6
	施策提案を全く実施していない	3

産業振興ビジョンの振り返りを受けての意見

令和3年9月

※【 】内の記号はワーキンググループ名

1. 岸和田の個性と魅力を活かす産業 ～歴史・文化・自然の資源の発掘と活用～

- ・山間部の資源をもっと活用してはどうか（牛滝温泉、和泉葛城山への遊歩道等）【B】
- ・文化財を訪問者に見てもらえるよう、分かりやすい案内板や現地の環境整備を（義犬塚古墳等）【B】
- ・映画のロケ地巡り、漁体験など、多様な観光メニューがあることを積極的に広報することが大切【B】
- ・観光資源について、まずは市民がどんなものがあるのか知ってもらう必要があり、駅前や愛彩ランド等での周知が充実できると良い【B】
- ・みなとマルシェについて、愛彩ランドのように、品ぞろえの充実等活性化が必要【B】

2. 人と環境にやさしく時代に対応した産業 ～福祉・環境・情報化の時代に対応～

- ・シルバー人材センターでの仕事だけでなく、高齢者が活躍したいと考える仕事や活動のニーズを調査することが大切【A】
- ・高齢者の働く環境をデジタル化によってつくりあげていけば、自動車の免許返納後でも自宅でパソコンを使って仕事をするなどできるのでは【A】
- ・大阪府と連携し環境に配慮した炭素フリーの設備投資に関する助成金の情報を集めたり、研究機関と連携して具体的な環境技術の開発に取り組んだりしてはどうか【A】
- ・エネルギーの地域循環に取り組むことが大切【A】
- ・自然に親しめる観光に活かせるよう、山の整備を進めてほしい（森林環境税の活用等）【B】
- ・中小零細企業にとっては、インターネットを使った作業が困難な事業者もいるので、パソコンの操作支援や申請の補佐等対策が必要（小規模事業者持続化補助金等）【C】
- ・できるだけ農薬を使わずに栽培している農家、またはしようとしている就農希望者に対して、支援を充実させてはどうか【C】
- ・若者が岸和田市で外に出ずに創業を目指してもらえる環境づくりの一環として、ITも含めて考えていくべきなのではないか【C】
- ・脱炭素やデジタル化等に補助金を出すとか、脱炭素の取り組みをしたところに支援をするなど、他の市に負けない取り組みが必要ではないか【C】

3. 多様性を活かし地域経済循環を創出する産業 ～地域と人と産業の相互交流・連携の推進～

- ・異業種交流のあり方について、期限を決めて開催する、地域の課題を解決するための取り組みを考えるなど、ボランティアでもいいので、気楽に話し合える雰囲気作りが大切【A】
- ・創業セミナーなど創業について相談できる場については、日程調整を図ってどんなタイミングでも3市（岸和田・貝塚市・泉佐野市）のどこかで相談できる体制にしてはどうか【A】
- ・創業希望者の一人ひとりが持っている知識に差があるので、きめ細やかな支援が大切【A】
- ・コロナの影響により、農産物や水産物等商品が売れていない現状があり、対策を講じながらどんチャカフェスタや商品券で経済を回していきたい【B】

- ・「岸ぶら」がどのくらい閲覧されているのかが気になる。閲覧が少ないのであれば、年代別など対象者別に作りこむなどリニューアルが必要【B】
- ・スーパーで買わずに、ローカルファーストで地元の商店で購入できる取り組みが出来ないだろうか【B】
- ・ガチャガチャ等流行っていることを活かして、楽しみながら岸和田産の物に触れることが出来る機会があると良い【B】

4. ものづくりを大切に、人を育て活かす産業 ～人材の育成と雇用の確保～

- ・中間管理職の育成が課題になっている【A】
- ・身近な教育・研究機関で社会人に対するデジタル化、I o T等の教育環境の充実が大切【A】
- ・高齢者でまだ働きたいが、事業者の意向で働けないというミスマッチがあるのでは【A】
- ・今後も外国人人材の採用は必要な取り組みである【A】
- ・外国人人材に対して、働きやすい環境づくりとして、住まいや買い物等の生活支援が必要【B】
- ・今後は、定年延長の影響もあるが、リタイヤした人の就農が一定程度見込まれる【B】

5. チャレンジ精神あふれる産業 ～新規事業の開発・育成と既存事業の経営革新～

- ・現在では、I S Oの取得はあまり進んでなくて、事業継続計画（災害時対応等含めたB C P）の取り組みが進んでいる【C】
- ・今後はS D G sが大切であり、取り組んでいないと消費者から選ばれない雰囲気があるが、中小企業、特に小規模事業者は意識して取り組んでいる印象はあまりない【C】
- ・S D G sは高校生も取り組んでいるところがあって、企業で取り組んでいるところがあれば、就職先として選ばれるではないか【C】
- ・設備投資について、中小企業だとなかなか新規で融資されないケースがあり、受け皿として市で補助すると良いのではないかと【C】
- ・事業再構築について、もっと相談件数が上がってもいいはずだが上がってきていなくて、もしかしたら声を上げずにいるなど、潜在的なニーズがあるかもしれない【C】
- ・特産品に関するプロジェクトを実施しても、人手不足や状況の変化により継続出来ていないことがある（包近の桃のプロジェクトの例）【C】
- ・岸和田ブランドについて、メリットを説明できる調査等行うと良い（だんじりの経済効果測定の例より）【C】
- ・産学官連携では、それぞれの思惑があって、同じ方向に向かないことがある【C】
- ・Kishi-Biz で、創業支援、市場の掘り起こし、フォローアップまで一気通貫で携わってほしい【C】
- ・基本的に、企業は10年スパンである程度事業を変えていかないと、存続させていくことはできない【C】
- ・創業と事業承継を両輪に考え、若い人が、事業を引き継ぐのに資本がないから引き継げないというところに対する支援を行うことが必要【C】
- ・キッチンカー等空きスペースに店を出せて、人が集まれる環境づくりが大切【C】